

平成27年第3回定例会一般質問

平成27年9月15日・16日・17日

(16枚のうち2枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	畑中 香子議員	1 医療制度問題について	<p>(1) 政府が閣議決定した「骨太の方針 2015」によると「財政健全化」を口実に社会保障費の伸びを毎年 3,000 億円から 5,000 億円規模で削減する方針が盛り込まれている。医療、介護、年金、生活保護等について「適正化」の名のもとに大幅な社会保障切捨てが進められるおそれがあるが、市民生活を守る対策が求められるのではないか。</p> <p>(2) 低所得者への国保負担軽減策を盛り込んだ 1,700 億円の補助が本年度から実施されるが、本市の国保財政へどのように反映されるのか。</p>	市長	
		2 災害対策について	<p>(1) 台風 15 号による被害で浮き彫りになった問題点・課題とその対策は。</p> <p>(2) 川内原発が再稼働したが、原発事故による災害への対策は。</p>	市長	
		3 時報のサイレン吹鳴について	<p>(1) サイレン吹鳴について「音がうるさい」「戦時中を思い起こさせる」「犬が鳴いて困る」等、向きや場所によって住民に不快な思いをさせている場合があるが、順次、メロディーに替えていくべきではないか。</p>	市長	
		4 湯之尾・築地線の歩道延長について	<p>(1) 湯之尾・築地線の歩道のない部分について、共同浴場へ通う高齢者や、通学中の子どもにとって危険であり、改善が求められるが、対策を検討せよ。</p>	市長	

平成27年第3回定例会一般質問

平成27年9月15日・16日・17日

(16枚のうち3枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	福本千枝子議員	1 人口維持対策はどうすればいいか	<p>(1) 先日第4回伊佐市総合振興計画審議会が開催された。日経BP社(コンサルタント)の分析によると、「伊佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の柱は、人口の現状維持と若い世代が魅力を感じるまちづくりが必要とあった。まちづくりには次の5つの柱がキーワードであると説明された。</p> <p>ア. 交流人口を増やし、人の流れをつくる。定住人口を増やすこと。(曾木の滝公園・忠元公園・十曾公園等の過ごし方)</p> <p>イ. 教育環境の整備が必要。(市内高校の魅力の情報発信等)</p> <p>ウ. 6次産業化の推進。(今後の考え方について)</p> <p>エ. 健康づくり、スポーツの推進。(健康寿命をのばすには)</p> <p>オ. 楽しむこと。(若い世代が残る為には、楽しむ場所の確保)</p> <p>この事を受け、審議委員からの提案が出てくると思うが、市長、教育長の見解を伺う。</p>	市長 教育長	
		2 空き家住宅の対処について	<p>全国的に空き家住宅、特に危険家屋と証される廃屋が問題となり、強制的に解体する自治体もある。そこで、</p> <p>(1) 本市の空き家住宅、長く放置された危険家屋等ほどの位あるのか。</p> <p>(2) 固定資産税の納入状況は。解体費用の助成は。解体後の固定資産税の評価は。</p> <p>(3) 県内の自治体では空き家バンク制度があり、情報発信しているが、本市でも取り組めないか。このことも定住促進につながると考えるが。</p>	市長	

平成27年第3回定例会一般質問

平成27年9月15日・16日・17日

(16枚のうち7枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	左近充 議員	1 鳥獣被害対策について	(1) イノシシ・シカ・サルの捕獲状況は。 (2) 被害状況は。 (3) サル・イノシシ駆除等の打ち合わせは。(さつま町) (4) シカの捕獲に大型柵わなを。	市長	
		2 新規需要米について	(1) 飼料用稲(WCS)の栽培面積は。 (2) 販路等は。 (3) 飼料米の栽培面積は。 (4) 販路等は。 (5) 飼料米を専用品種で出来ないか。 (6) 新規需要米どうしの団地化はできないか。 (7) 今後どのように進めていくか。	市長	

平成27年第3回定例会一般質問

平成27年9月15日・16日・17日

(16枚のうち8枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	沖田 義一議員	<p>1 広葉樹林の立ち枯れについて（カシノナガキクイムシ）</p> <p>2 ボランティアガイドの育成・活用について</p>	<p>(1) 6月頃から、広葉樹林の立ち枯れが多く見られるが、原因について伺いたい。</p> <p>(2) 伊佐市の被害面積について伺いたい。</p> <p>(3) 被害が拡大しないようにする対策について伺いたい。</p> <p>(4) 土砂の流失、水源への影響、鳥獣被害等の拡大等の発生及び対策について</p> <p>(1) 曾木の滝及び曾木発電所等で、伊佐市の普及宣伝等に頑張っているボランティアガイドの方々を、どのように評価しているのか伺いたい。</p> <p>(2) 現在15名のボランティアガイドの方がいらっしゃるが、高齢化が進んでいる。ガイドの育成が急務であると思っているが。</p> <p>(3) 観光拠点施設を、事務所、休憩所として活用していたが、現在では狭くなり、また、防犯上の関係から使用しづらくなっている。事務所兼休憩所が必要ではないか。</p> <p>(4) 色々なことでボランティアガイドを活用して使ってほしい。例えば、小中高校の遠足、農家民泊の方々のガイド等々。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

平成27年第3回定例会一般質問

平成27年9月15日・16日・17日

(16枚のうち9枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	緒方 重則議員	1 旧大口育成牧場の現状について	<p>(1) 施設・環境整備の進捗状況について 5か年計画による造成工事などの基本施設工事、農業用施設や畜舎の整備、家畜排せつ物の処理施設等の整備は、計画に基づいて進められているのか伺う。</p> <p>(2) 河川の汚濁の影響について 検査の現状、数値など、市の見解を伺う。</p> <p>(3) 畜産クラスター事業について 酪農施設整備事業（牛舎・搾乳施設・排水処理施設）の取組について伺う。</p>	市長	
		2 夢さくら館の施設利用について	<p>(1) 10月1日から株式会社カミチクが指定管理者として運営していくことに、大いに期待しているが、駐車場等の環境整備について以前から改善の余地がある旨の意見が多く聞かれるが、出入り口の改修工事など取り組む考えはないのか。</p> <p>(2) 周辺自治会との関わりについて 施設周辺の自治会でも期待は大きく、様々な取組を提案できればと準備されているが、市の対応について伺う。</p>	市長	

平成27年第3回定例会一般質問

平成27年9月15日・16日・17日

(16枚のうち10枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	鶴田 公紀議員	1 河川対策について	(1) 堆積の浚渫（災害未然防止対策）計画について (2) 自然と親しむ対策について	市長	
		2 舗装依頼について	(1) グラウンド橋から園田橋の兩岸を、ウォーキングやジョギングコースのための舗装はできないか。	市長	
		3 休校と学力テストについて	(1) 休校の基準と閉校基準及び開校基準等々について (2) 学力テストの結果について	市長 教育長	
		4 原発について	(1) 川内原発再稼働に伴う避難先に指定されているが、妥当と思われるか。	市長	

平成27年第3回定例会一般質問

平成27年9月15日・16日・17日

(16枚のうち11枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	柿木原榮一議員	1 マイナンバー（共通番号）の問題点について	<p>(1) 広報いさ8月号に「マイナンバー制度」について掲載されたが、改めてメリット、デメリットをお願いしたい。</p> <p>(2) 住基ネットの住基カードは、「自治事務」で、個人番号カードは、「法定受託事務」と法定化されている。12桁の個人番号が付番され、「通知カード」により「登録世帯」単位に「簡易書留」で通知され、個人番号カードの申請書も同封される。初年度伊佐市はどのくらい配達できるのか。その時点で多くの問題が発生するが、その対策はどのようなのか。</p> <p>(3) 初めて、法人にも13桁の番号が付けられる。強制付番と任意付番があるが、これには伊佐市としてどのくらい関与されるのか。</p> <p>(4) 6月1日に明らかになった、日本年金機構から大量の年金データ流出事件があった。「マイナンバー制度」は、個人情報流出の可能性が年金機構以上に出てくる可能性があるが、伊佐市としてどのような考えか。ちなみに、8月22日の新聞では、政府はマイナンバーと基礎年金番号と結びつける作業は、当面延期することとしている。</p> <p>(5) 2019年3月までの3年3か月で8700万枚発行するとのことであるが、2016年1月から2017年3月までは、1500万枚の無料交付を計上しているが、2017年4月からも無料なのか。</p> <p>(6) 個人番号カードを紛失した場合の再発行、紛失の届けの順序はどのようなのか。</p> <p>(7) 社会保障・税番号制度に係る情報システムの全体像が示したものがあるが、地方公共団体情報システム機構の平成27年10月5日付番開始に支障はないのか。</p>	市長	

平成27年第3回定例会一般質問

平成27年9月15日・16日・17日

(16枚のうち12枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
		<p>2 全国の自治体では「公共施設等総合管理計画」を策定し、いろいろなマネジメントなどの手法を用いた公共施設の再編が行われているが、伊佐市の場合は。</p>	<p>(8) 平成29年1月以降順次サービス開始予定の「マイポータル」の説明と内容・範囲について教えてほしい。</p> <p>(9) マイナンバー番号の不提出者がいたらどのような対応をすればいいのか。</p> <p>(1) 公共施設の役割をどのように思っているのか。</p> <p>(2) 昨年4月、総務省が全国の自治体に要請した「公共施設等総合管理計画」の策定に伊佐市は今年9月議会に提出された公共施設等総合管理の意義を現状分析、計画策定をどう考えておいでか。</p> <p>(3) 伊佐市の内部でどの課が担当し、どの課が進めていくのか。流れはどうか。また、交付金の関係も説明願いたい。</p> <p>(4) 普通財産、行政財産の考え方について、管理の課が複数になり、合意形成が分からなくなる点があるので、縦割り組織の構造上聞きたい。</p> <p>(5) 公共施設等総合管理で平成27年、固定資産台帳の整備になるが、公共施設を巡る環境は大きく変わってきているが、留意されていることは何か。</p> <p>(6) 平成28年予定の債務負担行為の計画策定は。委託業務になるのか。1,100万円に対応できるのか。</p>	市長	

平成27年第3回定例会一般質問

平成27年9月15日・16日・17日

(16枚のうち13枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
12	中村 周二議員	1 地方創生について 2 交付税の見直しについて	(1) 地方創生本部担当大臣の発言に「まちひとしごと創生には、行政・議会・住民、総力で取り組むべき」とあります。本市は、空き家対策、インフラ整備、公共施設の維持管理、学校の統廃合、医療、福祉、介護等、課題が多岐にわたるが、地方創生はどのように進んでいるのか伺います。 (1) 総務省は学校給食等の交付税を見直すとのこと。 今までは自治体が、調理、運搬している場合を根拠としていたが、民間委託による安価な水準で計算するとあります。このような話が実際にしているのか伺います。	市長 市長	

平成27年第3回定例会一般質問

平成27年9月15日・16日・17日

(16枚のうち14枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
13	久保 教仁議員	1 どのような伊佐市を目指しているのか。	<p>(1) 地方創生事業『まち・ひと・しごと創生総合戦略』の具体的な政策が我が市でも進められている。これは端的に言うと現状を踏まえて、また、将来を展望した上で「伊佐市をどのように活性化するか」「どのような伊佐市を目指すのか」「伊佐市の将来の行方をどのように考えるのか」ということにつきると思う。これらについて市長のお考えを伺いたい。</p> <p>(2) 伊佐を知ってもらい活性化させる交流人口の増加策は。 ア 観光施設の現状はどうか。このままでいいのか。 イ ビジネスホテルの誘致で、市街地の活性化を。 ウ 交流拠点として、十曾青少年旅行村・楠本川溪流自然公園・ひしかり交流館・そして今回、カミチクにお願いする夢さくら館について。 エ 滞在型交流拠点として、移住体験住宅の活用で移住者増を。</p> <p>(3) 高校のさらなる充実を。</p>	市長	

